

## 第6回検討委員会資料

### ○学校給食センターの現状

	給食センター名称	施設状況等	食数/校	築年	緊急性
1	第一学校給食センター	施設・敷地共狭隘、設備老朽化顕著、床・屋根劣化	4700/15	34	◎
2	第二学校給食センター	設備老朽化、床面劣化	5100/17	32	○
3	湖東学校給食センター	設備老朽化顕著、壁面劣化、電力容量不足等	3000/8	33	◎
4	国府学校給食センター	調理場狭隘	1000/9	18	
5	河原学校給食センター	給排水管劣化	900/7	25	
6	気高学校給食センター	塩害による顕著な建物躯体劣化、給排水管劣化	660/5	27	○
7	鹿野学校給食センター	設備老朽化、敷地狭隘、床面劣化	270/2	33	○
8	青谷学校給食センター	地盤沈下	330/2	28	△

### ○給食提供方式の比較

	自校方式	親子方式	センター方式	デリバリー方式
初期コスト	最も整備費が高価	自校方式よりは安価	集約化により安価となる	整備費不要
維持コスト	配送費は不要	配送費必要	配送費必要	調理価格に上乗せ
総合評価	献立に手間をかけた給食の提供や食育の観点からは最も優れる	調理場の有る学校とない学校での差が顕著となる	給食の水準の均一化、人員配置、コスト、アレルギー対策などバランスが良い	初期投資が無いメリットがあるが、事業者の倒産という除去できないリスクデメリット
鳥取市の現状	現学校全ての敷地内に調理場面積の確保は難しく、用地取得も簡単ではない。整備時間もコストも現実的ではない。	自校式と同様の問題があるが、更に用途地域の問題がある。	現在の敷地では要求水準を満たしていない為、新たな用地の確保が必要となる。	10,000食を超える食数に対応できる業者がいるかどうか。
まとめ	自校式については、全校整備完了までに現在のセンターが継続できる可能性が低い。総合的にバランスが良く、持続可能な施設の観点や、衛生管理等基本理念の達成のためにセンター方式が優位。			

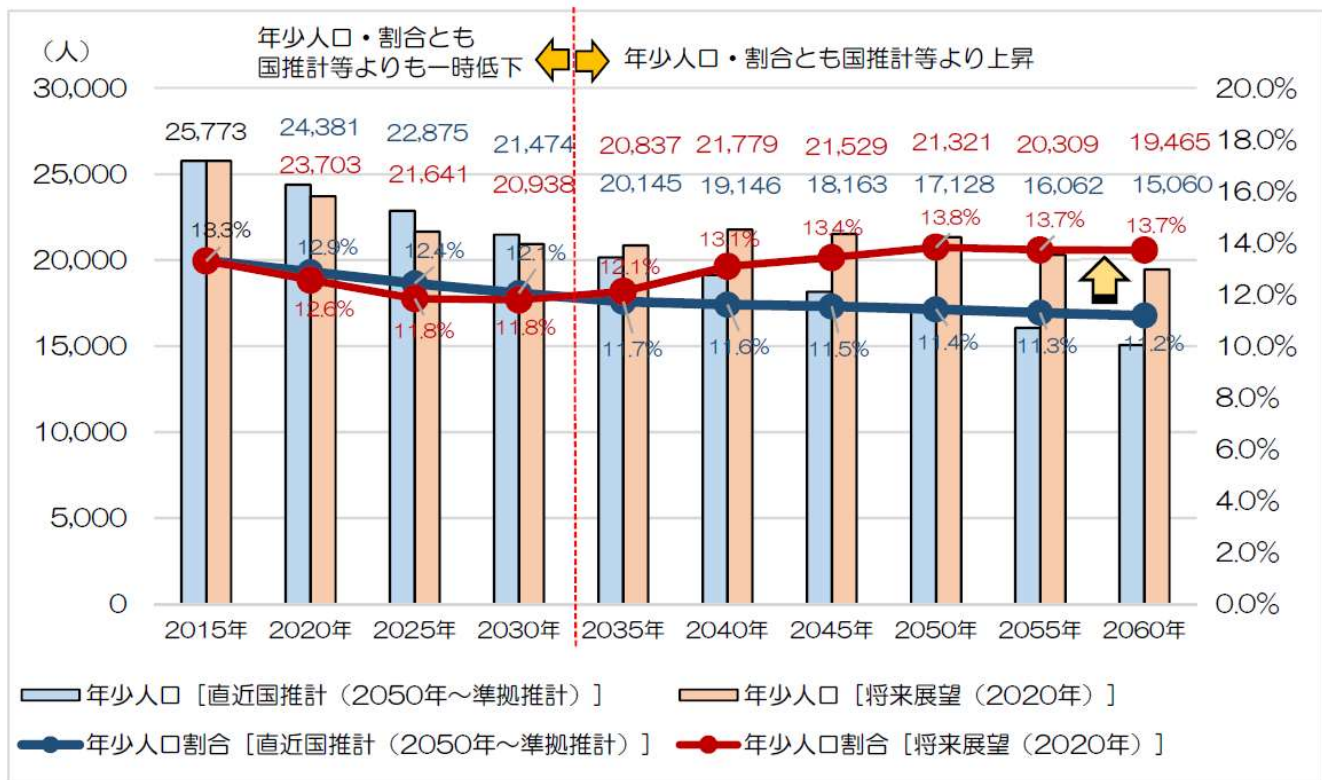
### ○整備する給食センターの個所数評価

	1か所	2か所	3～4か所	5～8か所継続
整備・維持管理コスト	◎ ・1か所の場合、整備費の合計としては最も小さくなる。 ※地元業者の参画できる規模を超える可能性が高い。	○ ・食数5,000食以下のセンターとした場合、コストメリットは出にくい為、バランスが必要。	△ ・整備費は増大する。 ・整備において地元業者も参画しやすい規模の選択も可能。	× ・施設数が多く、維持管理費が増大 ・コストメリットがとれないセンターが多数ある
2時間喫食（概ね30分以内の配送）	× ・鳥取市内の遠隔地（特に山間部）への配送は非常に厳しい。	○ ・西エリア・南エリアをある程度カバーすることができる。	◎ ・各エリアへの効率的な配送が可能。 ・災害・悪天候等の影響を受けづらい。	◎ ・現状、配送が可能。
確実な調理の実施	× ・受け入れ可能業者、人員等不足。 ・緊急的に閉所した場合のリスクが高い	○ ・分散するため各エリアの調理員を引き続き採用できる可能性が高い。	○ ・各エリアの現センター調理員を引き続き採用できる可能性が高い。	◎ ・各エリアの現センター調理員を引き続き採用できる。
用地選定	× ・中心部に15,000㎡以上の土地を確保する必要がある。（確実に利用できる用地は現状無い。）	△ ・中心部に比較的広い（10,000㎡程度）用地が必要。	○ ・各用地が10,000㎡未満であっても可能。 ・現センター用地等の選択肢もある	× ・用地不足のため、現在の衛生基準による建替は不可能となるため、別用地の選定が多数必要

給食センターの提供食数の将来推計(児童生徒数+教員数)

	給食センター	R4 年度 (2022)	R5 年度 (2023)	R6 年度 (2024)	R7 年度 (2025)	R8 年度 (2026)	R9 年度 (2027)	R10 年度 (2028)
1	第一学校給食センター	4,681	4,539	4,555	4,624	4,559	4,536	4,531
2	第二学校給食センター	5,115	5,102	5,032	4,935	4,880	4,729	4,613
3	湖東学校給食センター	2,877	2,819	2,822	2,771	2,757	2,684	2,610
4	国府学校給食センター	851	813	804	807	797	801	786
5	河原学校給食センター	836	817	803	781	759	702	689
6	気高学校給食センター	644	656	655	646	631	620	604
7	鹿野学校給食センター	254	260	266	256	254	255	235
8	青谷学校給食センター	282	286	278	274	271	268	248
	合計(人)	15,540	15,292	15,215	15,094	14,908	14,595	14,316

鳥取市人口ビジョン 年少人口(0~14 歳)の将来展望



【整備計画策定までの流れ】

